

春の野は楽しい。弁当をもって地図調査に出ればピクニック気分。ボートに乗ればレジャー気分。

平成 17 年度全日本リレー大会

2005 年 12 月 18 日 (日)

岡山県笠岡市白石島

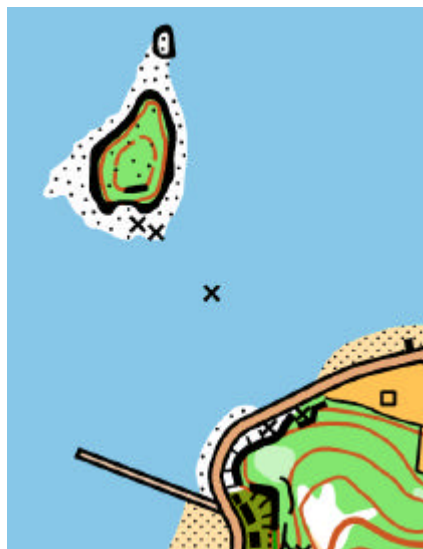
<http://www.orienteering.com/jroc2005/>



最後の GPS 測量となった灯籠。  
とうとうボートを投入して測量

## 全日本リレーを 利用する」

2005 年 12 月に開催される全日本リレーのテレインは岡山県白石島。瀬戸内海に浮かぶ島である。植生状態が開催時期に近い冬から春のうちに本宅的な地図調査が開始された。



一度本マガジでも紹介した海上灯台の地図。今度は正確にプロットできている。

いままで 20 年以上市民大会が開催されてきた白石島だが、今回の全日本リレーを機会に全面的に GPS とプロを投入して地図をリメイクする。今回の地図リメイクは一過性のイベントのためだけではなく、これからも続く市民大会の礎となるのである。それだけに調査者たちのモチベーションは高い。

## 気力の GPS 測量

これを機会に白石島の隅から隅まで GPS 測量が行われた。測量には島の住民まで参加して行われた。

「60 年間島に住んでいるが、こんな場所に足を踏み入れたのは初めて。」実際に足を踏み入れてみると、ヤブだらけだと思っていたテレインでも実はかなり使えるコトが判ったりする。やはり現地調査は非常に大切だ。

全島 GPS 測量を終えたとき、ひとつだけ測量を終えていないところがあった。しかもすごく目立つ場所で。それが大潮の干潮にしか歩いてたどり着くことができない海上の灯籠。ここまできたら全島 GPS で限なく測量したい！近くの海水浴場からボートを借りてきて海上灯籠への上陸作戦を敢行し、白石島 GPS 計画はとうとう完遂した。



岩だらけの山。天然記念物「鏝岩」  
岩の表現が非常に難しい。

白石島は GPS 調査には最高の環境だ。海上保安庁の電波灯台から近く、GPS の誤差が正確に補正できる。さすが海上を管轄する役所！誤差 1m 以内の測量がスイスイと進んでゆくに連れ、調査モチベーションも高まっていった。



岩だらけの尾根道。  
天空からの GPS 電波を遮るものは何もない。

## 地図でテレインが化ける

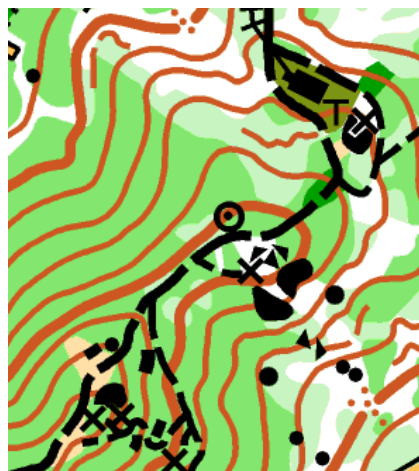
こんな原図を手にする、フィールド調査にもがぜん熱が入る。調査者からコッソリと入ったメールをここで暴露しよう。

「20 数年間このテレインとずっと向き合ってきた岡山県協会の理事長や島在住の担当者の方々、黒板に貼りだした最新地図とコース案をしげしげと見て、完全に「目から鱗」状態。

最初、木村に話しかけてきたときの、こんなヤブテレインでどうかという自信なさげな状態がウソのよう。こんなに奥の深いオリエンテーリングが提供できるなんて」

生まれ変わった地図は 20 年以上の歴史をもつ白石島のオリエンテーリングに新しいイノチを吹き込んでくれるに違いない。

(木村佳司)



モデルイベント予定地  
巨大の洞穴に 88 箇所お遍路地蔵。